



学校だより

1学期の活動報告

小学部、中学部、高等部の学習の様子をお伝えします。

福島県立大笹生支援学校
NO.2 令和6年7月19日



小学部

小学部では、大笹生小学校との交流及び共同学習を行いました。はじめの会では少し硬い表情だった子どもたちも、グループに分かれて一緒に活動する中で打ち解け、たくさんの笑顔が見られました。各グループでは、自己紹介をしたりキャタピラーリレーやボウリング等に取り組み、作戦や順番を相談したり友達を応援したりして一緒に活動し、交流を深めることができました。

その他の学習においても、十六沼公園や道の駅ふくしま、信陵学習センター等の地域の施設の利用を通して、地域の方々との触れ合いや地域の様子について知る機会となっています。地域とつながりながら学習を進めることで、児童が学校以外の場所でも身に付けた力を発揮したり社会性を身に付けたりする機会となるよう努めています。



中学部



中学部では、集団の中で自分の役割を果たしたり、協力して活動に参加したりして、よりよい人間関係を育むことをねらいとして、学部集会を実施しています。今年度は各学年から学部集会係を選出し、生徒自身で運営も行いながら取り組みを進めています。5月に実施した第1回目の学部集会はグループ対抗のターゲットボッチャを行いました。学年や学級を越えたグループの中で、話し合って順番を決める姿や、互いにアドバイスを送り合う姿が多く見られ、充実した集会活動となりました。各学年から選出した、記録係・実況係・審判係の生徒もそれぞれの係の仕事内容をよく理解して、会の運営を支える大切な役割を果たしてくれました。第2回目、第3回目の学部集会では生徒が担う部分をさらに増やし、より主体的な集会活動になるように支援していきます。

高等部

高等部では、6月10日(月)から21日(金)の2週間にわたり、前期産業現場等における実習を実施しました。1年生は校内での実習、2、3年生は主に校外での実習を行いました。1年生は長時間集中して仕事に取り組むことの大変さや働く上での基本的なマナーやルールを経験しながら学ぶことができました。2、3年生は卒業後の自分の生活を意識し、福祉事業所や企業等での実習を行ってきました。実習では、職場の方々やお客様などへのあいさつやコミュニケーションをとることの大切さ、働く上での心構えや態度等を学ぶことができました。卒業後の進路実現に向けて、今回の実習の反省・評価をしっかりと振り返り、11月に実施する後期産業現場等における実習に生かしていきたいと考えています。



職員研修の様子

「校内研修の充実」について

研究テーマ「学習や生活の場で活用できる!生きて働く力を育む授業づくり」に関連して、6月に筑波大学下山直人先生より御講演いただきました。各教科等の力は子どもの生活を豊かにするために用意されていることなど、授業実践を基にした内容から、改めて多くの学びを得ることができました。また教員は毎月研修日を設けグループに分かれて実践を話し合い、より良い授業づくりと児童生徒の資質・能力の育成に向けて研修に努めています。



摂食指導研修会

「校内研修の充実」について

年2回、歯科医の千木良あき子先生を講師にお迎えし、摂食指導研修会を実施しています。5月に第1回の研修会を行いました。給食の場面を千木良先生に見ていただきながら、児童生徒に合わせた食形態の検討や指導についての御指導、御助言をいただきました。偏食のある生徒の事例では、学齢期には色々な食材を試すことが大切であること、全量摂取を目的とせず、家庭と学校で課題を共有していくことなどの御助言をいただきました。

また、教職員間でも学習会を開き、御指導いただいた内容を共有しました。御指導いただいたことを毎日の給食指導に生かしていきたいと思えます。



PTA奉仕作業

「地域への貢献」について

6月18日に第1回奉仕作業が行われました。当日は雨天のため校舎内の窓拭き、窓枠とレールの清掃、校舎内の清掃を行いました。奉仕作業では久しぶりの校舎内清掃でしたが、厚生担当役員さんのリーダーシップのもとスムーズに清掃に取り組んでいただきました。子どもたちが快適に過ごせる環境を作ってください、ありがとうございました。

